



# UNION NEWS

https://jrtu.jp

東海旅客鉄道労働組合

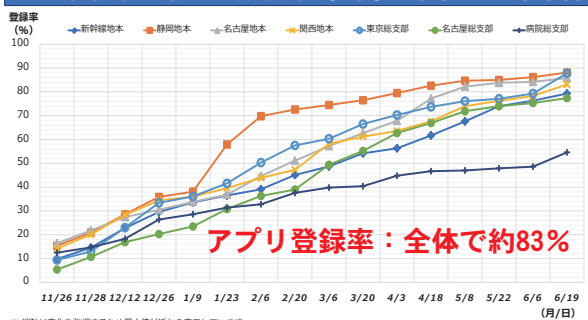
東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95  
JR東海品川ビル3階3F (03)6718-1251  
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

## JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 鎌田 隆司 / 編集人 伊藤 大輔

### 地方本部・総支部別 登録率推移 (比較) 2025.11 → 2026.06



※ 縦軸は変化を強調するため最小値付近から表示しています

アプリ運営会社である(株)スタメンとの契約締結以降、第40回定期中央委員会(2026年2月3日)を一つの節目とし、各級機関と緊密に連携しながら登録促進に取り組んできた。春の全職場総対話行動期間を通じて、各職場で工夫を重ねながら繰り返し、登録率は6月19日現在で約83%となるなど、着実に登録を進めることができた。各級機関のご尽力

## TUNAGアプリを活用した組織強化の取組み

一組織の変化を強化につなげ、より身近なJR東海ユニオンへ



これらを目的に掲げ、鋭意検討・準備を重ねてきた。

- ① JR東海ユニオンの存在を身近に感じてもらうため、情報共有の迅速化と均一化を図る
- ② 組織の一体感を醸成するため、役員と組合員、組合員どうしのコミュニケーションを活性化させる
- ③ 誰もが参画しやすい持続可能な活動を志向し、組合活動のアップデートを図る

今期、JR東海ユニオンは、組織の変化を強化につなげることをめざし、諸活動に取り組んできた。その具体的な取組みの柱として、組合員が必要な情報をいつでも・どこでも取得できるTUNAGアプリを、新たな情報プラットフォームとして本格的に導入した。TUNAGアプリの導入にあたっては、単に新しいツールを入れるのではなく、組合員にとって本当に使いやすく、役立つ仕組みとすることを重視してきた。具体的には、

に、心より感謝申し上げる。TUNAGアプリの導入は、あくまでも手段であり、目的ではない。デジタルの力を活用し、情報をより早く、正確に届けることも、事務負担の軽減を図りながらも、労働運動の原点である対面でのコミュニケーションを大切にす姿勢は変わらない。むしろ、デジタルと対面、それぞれの強みを活かしながら、「つながる力」を「組織の力」へと高めていくことが重要である。組

今後は、本部発行の機関紙や「きょうむれば」と等の電子配信、各種情報発信の充実、スクリーンレットを活かしたベネフィットの拡充など、TUNAGアプリのさらなる活用を進めていく。組合員一人ひとりの主体的な参画を促し、働きがい・生きがいを感じられる組織づくり、そしてハートフルカンパニーの実現に向けて、デジタルと対面の双方を融合させた組織強化の取組みを継続的に推進していく。

### 「JR東海ユニオン」地方議員団会議 静岡県磐田市中で第28回研修会を開催

#### 地域交通政策への理解深める

5月29日、JR東海ユニオン地方議員団会議は、静岡県磐田市中にて第28回研修会を開催した。本研修会は、JR連合が進める「チーム公共交通」「チーム地域共創」と連動した地方自治体訪問として実施し、磐田市の交通施策を学ぶ貴重な機会となった。

当日は、草地球場市長(元JR東海ユニオン組合員)より、地域の現状や将来像について説明があり、地域交通の重要性と、自治体と連携して守り育てていく必要性を再認識した。

磐田市役所からは、地域公共交通の現状や将来像について説明があり、地域交通の重要性と、自治体と連携して守り育てていく必要性を再認識した。



今回の研修を通じ、地域の実情に基づく交通政策への理解を深めるとともに、地方議員団会議としての役割と連携の重要性をあらためて確認した。今後とも地域との協働を進め、取り組みの一層の活性化を図っていく。